

Press Release

2012年12月11日

メドピア株式会社

医師専用サイト MedPeer (メドピア) 主催

発表 | 医師が選ぶ「医学界・医師界における今年の漢字一文字」

「再」

医師約5万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」(メドピア、<https://medpeer.jp/>) を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽 (医師)>は、会員医師を対象に「医学界・医師界における今年の漢字一文字(略称:2012年 医師が選ぶ漢字)」を募集し、回答結果を取り纏めましたので、発表します。

医師専門サイトMedPeer 調査結果:「2012年 医師が選ぶ漢字」(総回答:2,492人)

【漢字】 / 【回答者数】 / 【比率】 / 【主な選出理由】

- | | | | | | | | |
|-----|---|---|-----|---|------|---|---|
| 1位: | 再 | / | 208 | / | 8.3% | / | 再生医療から。iPS細胞研究に注目が集まり、
2012年は「再生医療元年」であるとの声が多くみられた |
| 2位: | 賞 | / | 142 | / | 5.7% | / | 山中教授のノーベル賞受賞から |
| 3位: | 幹 | / | 138 | / | 5.5% | / | iPS細胞の和名:人工多能性幹細胞から |
| 4位: | 忍 | / | 96 | / | 3.9% | / | 厳しい医療環境を耐え忍ぶ、の意見等 |
| 5位: | 迷 | / | 68 | / | 2.7% | / | 医療を取り巻く環境が変化している、迷走している意見等 |

(サマリー)

- 医学界・医師界における2012年を表す漢字一文字を、医師専門サイトMedPeer (メドピア) に登録する医師(5万人以上)を対象に募集した。
- 2,492人の医師が回答し、iPS細胞研究に注目が集まったことにちなみ、“再生医療”を示す「再」が最多208票を得た。
- 「賞」「幹」が2-3位に続き、山中伸弥京大教授の研究成果・ノーベル賞受賞に関連する上位3文字で488票(得票率 約20%)を占める結果となった。
- 2012年が、“再生医療元年”であることを印象づける調査結果となった。
- 4位以下は、「忍」「迷」「乱」「耐」など、慢性的な医師不足をはじめとする過酷な医療現場や、医療を取り巻く社会情勢を反映する文字が選ばれた。

▼ベスト10と、主な理由（コメント抜粋）

2012年 医師が選ぶ漢字 | 医師専用サイト MedPeer（メドピア）調べ

順位	文字	得票数	主な理由（コメント抜粋）
1位	再	208	<ul style="list-style-type: none"> ・なんと言ってもiPS細胞による再生医療元年だと思います。ノーベル賞受賞も含めて医学・医療界に与えたインパクトは最大ではないでしょうか（50代、一般内科） ・iPS細胞の研究で日本人がノーベル賞を獲得し、いよいよ再生医療の実用応用に拍車がかかり始めたので。（50代、一般内科） ・山中京大教授のノーベル医学生理賞受賞が、一番印象的な出来事であったと思う。その結果、再生医療が一段と脚光を浴びた年であったので、「再」を選んだ。（70代、眼科） ・iPS細胞による再生医療元年です。（40代、一般外科） ・iPS細胞の発見者である山中教授がノーベル賞を受賞され、再生医療への注目がされた。また、天皇陛下の手術が無事に行われ、ご公務を再開されている。色々な意味で『再』を意識させられる1年だった。（30代、循環器外科） ・やはり京大山中教授のiPS細胞の開発成功とノーベル賞の受賞でしょう。再生医療の幕開けです。難病、原因不明の疾患で苦しむ患者を救う福音となることでしょう。そこで「再」を選びました。（40代、循環器内科）
2位	賞	142	<ul style="list-style-type: none"> ・今年唯一と言ってよい明るい話題が、山中教授のノーベル賞受賞だったので、これに尽きるような気がします。同じ整形外科医としても、とても嬉しいニュースでした。（30代、整形外科） ・今年の医学界は山中教授のノーベル「賞」の受賞に沸きました。（30代、循環器内科） ・ノーベル賞で世論の日本医療への期待が高まった。（40代、眼科）
3位	幹	138	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学の山中教授がiPS細胞（人工多能性幹細胞）でノーベル賞を受賞した。その幹。（40代、整形外科） ・ノーベル医学生理学賞に輝いた山中教授のiPS細胞（人工多能性幹細胞）にちなんで。（50代、一般外科） ・iPS細胞にちなんで、すべての細胞の根幹をなすものとしてのイメージです。（50代、呼吸器内科）
4位	忍	96	<ul style="list-style-type: none"> ・世相を反映して、医学界においても、耐え忍ぶ一年であったように、思います。（20代、循環器内科） ・われわれ医師も、厳しい医療状況の中で頑張っやっています。忍耐の忍を今年の世相を表す文字として選びました。（80代、リウマチ科）
5位	迷	68	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・患者関係、特定看護師の導入検討など、医療の世界にいままでとは異なる価値観が求められつつあるのを感じます。（30代、麻酔科） ・政治の混迷とともに、医療も介護・年金・子育て等の社会保障の一部として、先行き不透明、混迷の感を一層強くしております。（40代、精神科）
6位	乱	59	<ul style="list-style-type: none"> ・政界もさることながら、医療界も混乱（混迷）しているようにおもいます。（30代、スポーツ医学） ・TPPやiPS細胞の事件などいろいろな出来事があったので。（20代、一般内科）
7位	耐	54	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ、医師不足で、耐える場面が多いと思います（50代、その他） ・日々忍耐を強いられています…（40代、小児科）
8位	進	52	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル医学賞の受賞など、医学の進歩が目に見えた一年でした。（30代、呼吸器内科） ・進化・推進・進歩・・・iPS細胞のこれからの臨床応用に期待。（40代、整形外科）
9位	変	51	<ul style="list-style-type: none"> ・医療界では治療選択に様々な「変」化が生じています。（30代、呼吸器外科） ・医療制度や診断・治療内容、患者さんや医師ふくめ医療スタッフの考えかた等々様々、めまぐるしく変化していると思います。（40代、耳鼻咽喉科）
10位	新	38	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい治療薬、治療法が目白押しでした（40代、代謝・内分泌科） ・ノーベル賞受賞があったし、あらたな進歩のはじまりかなーと（30代、循環器内科）

▼ベスト5と、主な投票理由

2012年 医師が選ぶ漢字 医師専用サイト MedPeer (メドピア) 調べ				
順位	文字	得票数	得票率	主な投票理由
1位	再	208	8.3%	再生医療から。iPS細胞研究に注目が集まり、2012年は「再生医療元年」とあるとの声もみられた
2位	賞	142	5.7%	山中京大教授のノーベル賞授賞から
3位	幹	138	5.5%	iPS細胞の和名（人工多能性幹細胞）から
4位	忍	96	3.9%	厳しい医療状況が続く医師の勤務環境を象徴して
5位	迷	68	2.7%	「政治の混迷が医学会の混迷に繋がっているように思う」等の意見

▼ベスト3 ※弊社作成イラスト

記事掲載の際は、ご自由にご利用ください。リサイズ、トリミングともに「可能」です



※調査方法

□期間：

2012年11月28日（水）～ 2012年12月7日（金）

□有効回答：

2,492人（回答者はすべて、医師専用サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。なお、回答者は、回答時点において、既回答者の回答内容を確認することはできません。

設問

MedPeer（メドピア）事務局からの質問です。

MedPeerでは、医師の皆さまに「医学界・医師界における、今年の漢字一文字」を募集致します。皆さまがお考えになる、2012年の医学界・医師界の世相・変化・出来事を表す漢字一文字をご回答ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 経営企画室 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■MedPeer（メドピア）とは - 2012年11月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL：<https://medpeer.jp/>）。

会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 5 万人以上で、日本の医師の約 5 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,700 の医療用医薬品に対して、20 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上